

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		「学生が輝く“まち”」再生プロジェクト		担当課 企画課
総合計画	政策	----		計画期間 平成28年度～
	施策	----		種別 任意的事務
	基本事業	----		市民協働 その他
予算科目コード		01-020107-18 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
短期間の宅地開発により人口が増加したみずき野地区では、急激に高齢化が進んでいる。 この地区のみずき野町内会は、今後の将来を見据えたまちづくりを検討したいとしているが、町内会構成メンバー自体も高齢化が進んでおり、検討メンバーに若者を取り込む必要がある。	関心のある学生に地域活動に参加していただき、みずき野地区に愛着を持っていただくことからスタートする。その後、みずき野町内会、学生、事業者、行政が「みずき野地区の将来を見据えたまちづくり協議会」を設立し、当該地区の長期ビジョンを作成する。一方、学生には、一定期間の活動を通じ、地区に愛着を持っていただいた上で、市が借り上げた空き家（シェアハウス）に移り住んでいただく。地域での生活・活動を通じてシビックプライドが醸成され、将来は、つくばエクスプレスにより東京圏との近接性を強みに持つ本市を「第2のふるさと」として選択いただくことに繋げ、将来に向けて永続的な人の流れを創出することを目指すプロジェクトとして実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
みずき野地区に学生を呼び込み、地域活動に積極的に携わっていただくことで、学生が輝くまちとして再生（地区の活性化・若返り）を図ることを目指す。この目指す将来像は、魅力ある付加価値となり、本市と同様に東京圏との近接性を持つ市区町村と差別化し、U・I・Jターンを促進し、守谷市地方創生総合戦略に掲げる基本方針「『住まう』まち・守谷」を実現することができる。	
（参考）基本事業の目指す姿	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
該当なし	地域活動に参加してもらうことを条件として、市が借り上げた建物に8名の学生が移り住んだ。また、みずき野地区のこれからのまちづくりについて、みずき野地区の全戸を対象としたアンケートを実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
当該地区に転入した学生（卒業生含む）の数（人）	0.00	0.00	8.00	9.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	この事業により、現在、8名の学生が移り住んでいるが、予定している人数には1名分の空きがあるため、引き続き募集を行っていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	シェアハウス事業を継続しながら、平成28年度に実施したアンケートの結果を基に、みずき野地区の長期ビジョンを作成する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	3,921	6,897	4,980
	国・県支出金	0	0	1,960	3,448	2,490
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,961	3,449	2,490
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	345.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,415	0	0
トータルコスト		0	0	5,336	6,897	4,980